

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成27年1月22日 (2015.1.22)

【公開番号】特開2012-151093(P2012-151093A)

【公開日】平成24年8月9日 (2012.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2012-031

【出願番号】特願2011-260254(P2011-260254)

【国際特許分類】

H 0 1 B 1/20 (2006.01)

C 2 3 C 18/08 (2006.01)

H 0 1 B 1/00 (2006.01)

H 0 1 B 5/14 (2006.01)

H 0 1 B 13/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/24 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 163/00 (2006.01)

C 0 9 D 177/06 (2006.01)

H 0 1 L 21/288 (2006.01)

H 0 1 L 21/28 (2006.01)

H 0 1 L 21/3205 (2006.01)

H 0 1 L 21/768 (2006.01)

H 0 1 L 23/532 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 B 1/20 Z

C 2 3 C 18/08

H 0 1 B 1/00 D

H 0 1 B 5/14 Z

H 0 1 B 13/00 5 0 3 Z

C 0 9 D 5/24

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 163/00

C 0 9 D 177/06

H 0 1 L 21/288 Z

H 0 1 L 21/28 3 0 1 R

H 0 1 L 21/88 M

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月28日 (2014.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

銅化合物；直鎖、分岐または環状の炭素数 1 から 18 のアルコール類；V I I I 族金属触媒；バインダー樹脂；バインダー樹脂硬化剤および銅錯体から成ることを特徴とする銅含有組成物。

【請求項 2】

銅化合物が、酸化銅（Ⅰ）または酸化銅（Ⅱ）である請求項 1 に記載の銅含有組成物。

【請求項 3】

銅化合物が、金属銅粒子を被覆した酸化銅（Ⅰ）または酸化銅（Ⅱ）である請求項 1 又は 2 に記載の銅含有組成物。

【請求項 4】

アルコール類が、1, 3 - ブタンジオール、2, 4 - ペンタンジオール、2 - プロパノール、シクロヘキサノール、エチレングリコール、1, 3 - プロパンジオール、1, 4 - シクロヘキサジオールまたはグリセリンである請求項 1 から 3 のいずれかに記載の銅含有組成物。

【請求項 5】

アルコール類が、1, 3 - ブタンジオールである請求項 1 から 4 のいずれかに記載の銅含有組成物。

【請求項 6】

VIII 族金属触媒が、カルボニル錯体である請求項 1 から 5 のいずれかに記載の銅含有組成物。

【請求項 7】

VIII 族金属触媒が、トリルテニウムドデカルボニルである請求項 1 から 6 のいずれかに記載の銅含有組成物。

【請求項 8】

銅；VIII 族金属触媒；およびバインダー樹脂硬化物から成ることを特徴とする金属銅膜。

【請求項 9】

VIII 族金属触媒が、トリルテニウムドデカルボニルである請求項 8 に記載の金属銅膜。

【請求項 10】

銅化合物；直鎖、分岐または環状の炭素数 1 から 18 のアルコール類；VIII 族金属触媒；バインダー樹脂；バインダー樹脂硬化剤および銅錯体から成る銅含有組成物を被膜とし、不活性ガス；水素、または、不活性ガスと水素の混合ガス中で、加熱することを特徴とする金属銅膜の製造方法。

【請求項 11】

銅化合物が、酸化銅（Ⅰ）または酸化銅（Ⅱ）である請求項 10 に記載の金属銅膜の製造方法。

【請求項 12】

銅化合物が、金属銅粒子を被覆した酸化銅（Ⅰ）または酸化銅（Ⅱ）である請求項 10 又は 11 に記載の金属銅膜の製造方法。

【請求項 13】

アルコール類が、1, 3 - ブタンジオール、2, 4 - ペンタンジオール、2 - プロパノール、シクロヘキサノール、エチレングリコール、1, 3 - プロパンジオール、1, 4 - シクロヘキサジオールまたはグリセリンである請求項 10 から 12 のいずれかに記載の金属銅膜の製造方法。

【請求項 14】

アルコール類が、1, 3 - ブタンジオールである請求項 10 から 13 のいずれかに記載の金属銅膜の製造方法。

【請求項 15】

VIII 族金属触媒が、カルボニル錯体である請求項 10 から 14 のいずれかに記載の金属銅膜の製造方法。

【請求項 16】

VIII 族金属触媒が、トリルテニウムドデカルボニルである請求項 10 から 15 のいずれかに記載の金属銅膜の製造方法。

【請求項 17】

1 5 0 から 2 5 0 の間の選ばれた温度で加熱することを特徴とする請求項 1 0 から 1 6 に記載の金属銅膜の製造方法。